

平成29年度 学校だより (第16号)

木立見 こだちみ

校訓 ～ 強く 正しく 美しく ～

平成30年1月16日発行



発行者 出口 伸雄

足利市立西中学校 62-2230

平成29年度学校課題：自他を尊重し、互いに高め合う生徒の育成（2年目）

2018年（平成30年）がスタートしました。

今年は、成年です。成年は「実った作物を刈り取る」とか「季節の変化にゆっくり休み、次の年に備えエネルギーを蓄える年」と言われています。子どもたちにとって、自分を振り返り、将来のことをじっくり考え、夢や目標に向かって、コツコツと努力できる年になってほしいです。また、今年は、西中学校が誕生し、60年となる節目の年でもあります。60年という伝統を振り返り、学校を支えてくれた様々な人たちに感謝し、新しい第一歩をスタートしてほしいとも思っています。



教職員一同、これまで以上に素晴らしい西中学校を目指して、誠心誠意、努力をしていきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いいたします！

< 始業式式辞(抜粋) >



冬休み中に、こんな文章に出会いました。「人生も政治も、今日の続きとして明日があり、明日の続きとして明後日がある。その延長線上に将来が築かれていく。その将来がいかにあるべきかをしっかり考えながら、一日一日を大切に過ごしていきたい。」という文章です。

「将来」というと、何となくずっと先のことであり、今、現在とつながらないように感じます。しかし、将来を形成するものは過去であり、現在です。将来は、今日、明日、…といった一日一日の積み重ねでできています。充実した一日を過ごしていけば、充実した将来につながり、いい加減な一日を過ごせば、それなりの将来につながっているということなのです。1日は1時間の積み重ねであり、1時間は、1分、1秒の積み重ねです。つまり、「今、この瞬間」をどう生きるかが、「将来」を作っているということになります。「今」は「将来」につながっているのです。3学期は短い学期ですが、重要な学期です。「今を大切に」、一日一日を充実させて下さい。

3年生にとっては、義務教育最後の学期です。卒業まであと44日しか学校に来ません。仲間とともに一日一日を大切に過ごし、中学校生活で学ばなければならないことをしっかり学び、最上級生として、後輩から尊敬される西中生として卒業を迎えて下さい。ぜひ、有終の美を飾ってほしいと願っています。2年生には、3年生やこれまでの先輩方が築いてくれた西中学校の良き伝統を受け継ぎ、さらに素晴らしい西中学校になるように、信頼され、逞しい3年生になるための準備をお願いします。1年生は、3ヶ月後には新入生が入学してきます。生活面・学習面で、基礎をしっかり固めて、本当の意味で先輩と呼ばれるにふさわしい2年生になる準備をお願いします。

卒業や進級を控え、すべての西中生が大きく成長することを、教職員一同願っています。

厚生労働省 平成29年度インフルエンザQ&Aから(抜粋)

- 身体がだるかったり、微熱がありそうな時は、朝、検温し、医療機関を受診する。インフルエンザの反応が出ない場合があるので、無理して学校等には行かない。
- 規則正しい生活をして、睡眠、栄養を十分にとる。
- 水分を十分にとる。お茶やスープなど飲みたいものでも大丈夫です。
- 咳やくしゃみ等の症状があったら、周りの人にうつさないように、不織布製マスクを着用する。また、普段から咳エチケットに心がける。
- 人混みや大型百貨店等への外出は避ける。外出後は、手洗い、うがいを良く行う。
- インフルエンザに罹患した場合は、少なくとも2日間は保護者が付き添う。



西中少年消防クラブの活躍

生徒会専門委員会「安全委員会」の活動として、年間2回の避難訓練時のお手伝いや石油の給油等、そして、出初め式での防火パレードや足利市少年消防クラブ研究発表会への参加などがあります。

12月15日（金）、第58回足利市少年消防クラブ合同研究発表会において、代表者3名が、「西中生の防火意識調査」について発表しました。1年生123名を対象に、10項目のアンケートを実施し、様々な災害について西中生がどれだけ身近な問題として意識しているか、昨年度との意識の比較などについて分かったことや感じたことをパワーポイントを使ってわかりやすく説明しました。

また、平成30年1月7日（日）、足利市消防表彰式において、防火防災普及が認められ西中少年消防クラブが、足利市長表彰（感謝状）をいただきました。



日本では現在、高齢者だけで生活している家庭や、日中は幼い子どもと高齢者しかいない家庭が増えています。災害が発生した時には、中学生や高校生の働きが求められます。普段から、家庭や地域で助け合える関係を築いておくこと、そして、防災意識を高め、いざという時に力を発揮できるように備えておくことが大切です。学校でも、少年消防クラブの活動をはじめ、生徒の発達段階に応じた安全教育を行っていきたいと思います。

専門性を高め、信頼される教師を目指して！

今年度も、西中学校では、日々の実践を通し、各教科・道徳等の授業改善に向けた研修会や授業研究会等を行い、わかる授業・心に響く授業ができ、生徒・保護者からの信頼を深められるように努力をしています。

11月15日（水）、足利市教育委員会から、田村指導主事、堀江指導主事をお招きし、校内指導法研究会（道徳の授業）を行いました。各学年1学級、道徳の授業を行い、授業後には、学年毎に分科会、最後に全体会を行いました。指導主事からは、子どもの成長を認め励ますことの大切さ、考え、議論する道徳の授業の在り方、意見が言いやすい学級づくりなどについて指導をいただきました。実施した授業者及び学級は次のとおりです。

- ◇ 舘野有美 1年2組 主題名：働く喜び 内容項目：勤労、社会への奉仕
- ◇ 中村伊織 2年5組 主題名：ともに支え合う 内容項目：人間愛、思いやり
- ◇ 嵯峨康平 3年3組 主題名：自己を見つめる 内容項目：個性や立場の尊重

また、12月20日（水）、足利市教育委員会から、堀江指導主事、福地学力向上コーディネーターをお招きし、第4回かなふり松プロジェクト（授業研究会）を行いました。2つの研究授業後、学習指導主任から西中学校学力向上改善プランの進捗状況並びに全教職員の授業実践と改善策等の説明を行いました。指導主事からは、日常的な授業改善の大切さ、学びあいなど主体的な学習活動の位置付け、個に応じた指導による伸びる力のある生徒をさらに伸ばす工夫などの指導をいただきました。実施した授業者等は次のとおりです。

- ◇ 金谷 隼 1年1・2組（男子） 体育科 単元名：柔道
- ◇ 岡村慎太郎 2年4組 社会科 単元名：人々からみた富国強兵と文明開化



特別支援学級3校合同交流会

12月8日（金）、西中学校において、三重小学校、山前小学校、西中学校の3校で、児童・生徒や担当職員の交流会を行いました。子どもたちは、木工細工や玉入れなどを行い、楽しく交流し、小学生が西中学校へ進学するにあたっての不安が随分取り除かれたものと思います。西中生にとっても、中学生から進んで小学生に手を差し伸べ、成長がたくさん見られました。

また、担当職員同士も情報交換を行い、一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善するための事前の準備も行いました。